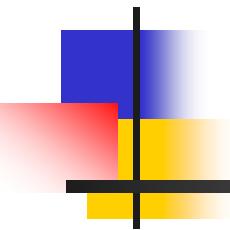


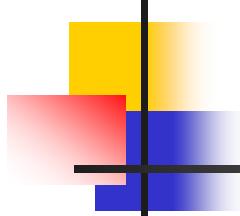
応用科学学会
パネル討論



产学連携と人間くささ

情報通信が発達しても
仕事の成否を決めるのは「人」

群馬大学大学院 工学研究科 電気電子工学専攻
小林春夫



人は「利」だけを求めて 集まるのではない

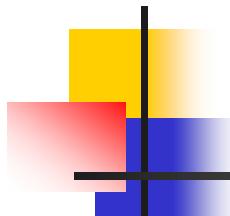
- 教会で日曜日の午後に奉仕活動

「なぜ？」

「会社で顧客のクレーム処理の仕事をしているので、
奉仕活動すると心が落ち着く。」

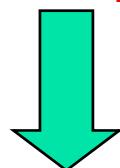
- 大メーカーのエリート技術者

「大学キャンパスにくるとほっとする。」

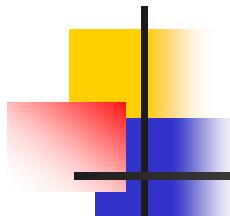


大学に人を集めには

大学人が志を高く持てば
志が高い人が集まってくる。

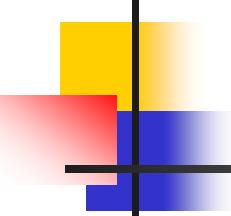


類は類をよぶ、友は友をよぶ。
悪貨は良貨を駆逐する。



情報通信が発達しても 仕事の基本は人間

- 名門商社OBの方とE-mail でやりとり。
当方に重要でないと判断し、
うっかり返事をしなかった。
➡自筆の手紙がくる。
- 产学連係の問い合わせを受ける。
当方のキャパシティの問題でやや躊躇。
同社訪問の際に何人もの立派な人たちが対応。



人間が設計を行う、 CADが設計を行うのではない

アナログ回路設計では 机上でよく考える

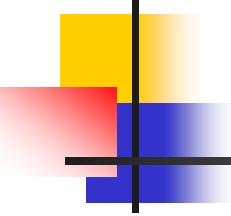


手計算で妥当性を検討する



CADで正確にチェックする

設計者が回路の理屈を良くわかっていることが重要



「便利さ」と「大きな仕事をする」は直結しない

司馬遷の史記

大作の歴史書 不自由な環境下で執筆

玄奘法師のインドからの経典

当時の社会に大きなインパクト

大きな仕事のためには
「人間の精神力」の要素大

产学連携のあり方

- 三尺三寸箸の教えに学ぶ -

- 「地獄」も「極楽」も食卓は同じ。
沢山のご馳走が用意。
どちらも三尺(90cm)もある長い箸を使う。

外部から見たシステムは同じでも。。。

产学連携のあり方

- 三尺三寸箸の教えに学ぶ -

- 地獄の住人たちは、先を争って食べようとする。
長すぎる箸を使いこなせず、
やがて周囲と争いを起こし、
ご馳走を食することができない。
- 極楽の住民たちは、三尺の箸でご馳走をつまむと、
向かい合う相手に食べさせる。
自分は相手がつまんだご馳走を食する。

成否を決めるのは「人」